

# 経営比較分析表（平成28年度決算）

鳥取県 三朝町

| 業務名       | 業種名         | 事業名    | 類似団体区分                         | 管理者の情報 |
|-----------|-------------|--------|--------------------------------|--------|
| 法非適用      | 水道事業        | 簡易水道事業 | D3                             | 非設置    |
| 資金不足比率(%) | 自己資本構成比率(%) | 普及率(%) | 1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円) |        |
| -         | 該当数値なし      | 30.06  | 1,944                          |        |

| 人口(人)     | 面積(km <sup>2</sup> )     | 人口密度(人/km <sup>2</sup> )   |
|-----------|--------------------------|----------------------------|
| 6,720     | 233.52                   | 28.78                      |
| 現在給水人口(人) | 給水区域面積(km <sup>2</sup> ) | 給水人口密度(人/km <sup>2</sup> ) |
| 2,007     | 191.00                   | 10.51                      |

グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 平成28年度全国平均

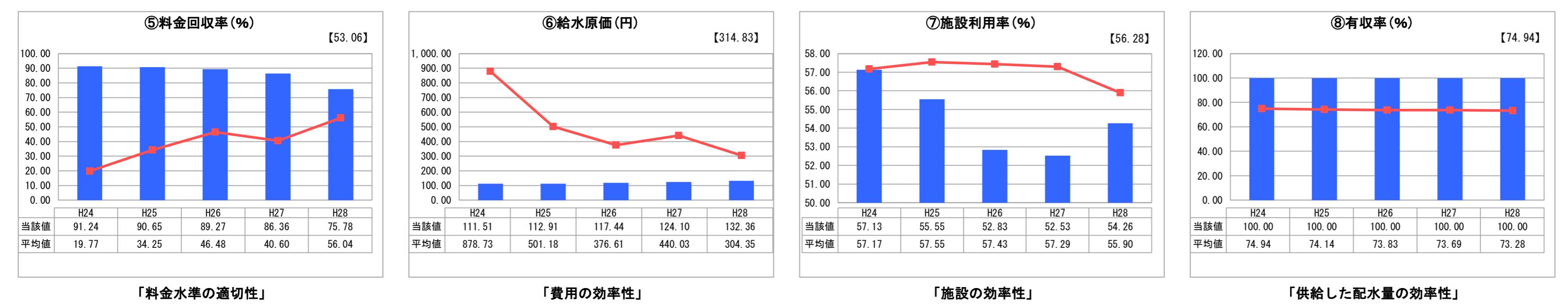
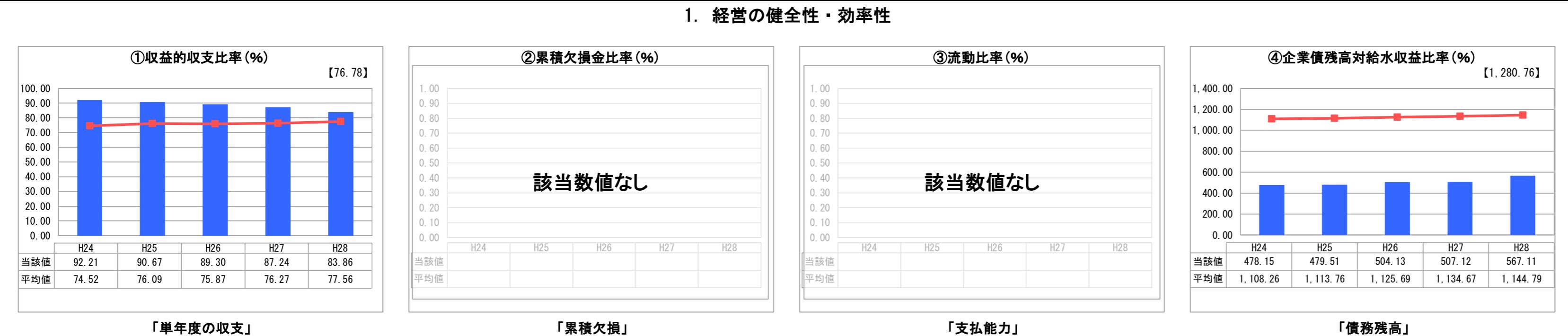
## 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について  
収入：人口（給水人口）の減少と節水から、料金収入は年々減少している。このため、徴収率を高めるとともに、人口推移を考慮した料金体系の見直しを図る必要がある。

支出：施設の修繕は出来る限り職員が直當で対応し、維持管理経費の節減に努めている。また、老朽管を計画的に更新するとともに、断水を未然に防ぐため全ての配水池に水位通報装置の設置を4年計画で行っている。

## 2. 老朽化の状況について

各集落が施工及び管理していた簡易水道施設（18施設）及び飲料水供給施設（18施設）を、平成19年4月に町が一括して管理することになった。現在、施設管理記録（過去の破損状況）等に基づき、老朽管を計画的に更新している。



## 全体総括

経営環境が厳しさを増す中で、長期的かつ安定した経営基盤の強化を図ることが必要である。  
1 人口が減少する中で料金収入を確保するため、徴収率を高めるとともに、料金体系の見直しを図る。  
2 維持管理経費を抑制するなど、経費の削減を図る。